

環境教育の推進



6月に、東京都教育委員会による、地球温暖化防止に向けた「CO₂削減アクション月間」が実施されました。本市においても小学5年生、中学1年生を中心に市内の児童・生徒6809人がチェックシートを活用して、節電や節水などに一か月間取り組まれました。参加した児童・生徒の力とご家庭の協力により、町田市では約14・4tのCO₂の排出量を削減することができました。サッカーボールにすると、144万個分に相当します。一人一人の力を集めると大きな力になります。これからも、町田市教育委員会では持続可能な社会作りに向けた環境教育を進めていきます。今回は「CO₂削減アクション月間」において802kgの削減をした、町田市立南大谷小学校の取り組みについて紹介します。

南大谷小学校「CO₂削減 アクション月間」の成果

- 取組学年 3年生～6年生 (346人)
- CO₂削減量 802,850g (一人あたり約 2,320g)
(内訳) 電気関係 538,993g、水道関係 200,229g、ごみ・レジ袋 63,628g

工夫したことや努力したこと

- 買い物の時にレジ袋をもらわないようにした。
- 部屋の電気をこまめに消した。
- できるだけエアコンを使わない。
- 大好きなテレビを見る時間をがまんした。
- 風呂の残り湯を使った。
- 主電源が切れているか確認した。
- 水道をこまめに止めて洗顔や歯磨きをした。

分かったことや感想

- 一日でも努力するとこんなにCO₂が減らせるなんて思ってもみなかった。
- 一人一人がCO₂を減らすと地球を救えるかもしれない。
- 冷房を1度上げると家の空気が変わって環境に良いと思った。
- 結構簡単だったのでこれからも続けたい。

南大谷小学校の環境教育の取組例

恩田川ゴミ拾い活動 (2年生・4年生)

学校の近くに流れている恩田川は、たくさんのことを学習させてくれる自然であり、この川を地域で生活する人々で守っていかねばなりません。そこで本校では、できる範囲でゴミ拾い活動を実施しています。川に捨てられているビニール袋やペットボトルを拾いながら、環境保護について学習できました。



田んぼづくり (5年生)

畑の一角を田んぼにしました。「自分たちで作って食す」という食育学習を取り入れています。今までに米・里芋・ジャガイモ・大根等様々な食材を学校給食に使ってきました。

教育委員会の動き

6月～8月

- 町田市教育委員会では、平成22年6月から8月までの間に定例会3回、30件の議案を審議し、2件を協議し、25件の報告を受けました。以下にその主なものをお知らせします。なお、教育委員会の開催状況や議題の内容、議事録等は、町田市ホームページ上でご覧いただけます。
- 【議案】
- 2010年度町田市教育委員会の施策等の点検及び評価(2009年度分)について
 - 2011年度使用教科用図書(小学校)の採択について
 - 2011年度使用教科用図書(中学校)の採択について
 - 2011年度使用教科用図書(小学校)の採択について
 - 2011年度使用教科用図書(中学校)の採択について
- 【協議】
- 町田市文化財保護審議会に對する諮問について
- 【報告事項】
- 教職員のための健康相談窓口の開設について
 - 市民センター等における図書館予約資料の貸出等の実施について
 - 森村誠一氏文学資料の寄贈について
 - 2009年度防犯カメラ管理状況について
 - 2009年度学校支援センター事業報告について
 - 町田市学校支援実行委員会連絡協議会について



今年度の研究推進校が発表会を開催します

町田市立小・中学校のうち、今年度の研究推進校(市として研究課題に取り組む学校)が11校、研究校(自校で課題を決めて取り組む学校)が11校あります。そのうち、研究発表を行う学校は以下の通りです。

2010年	学校	研究テーマ
10/29(金)	鶴川第一小	伝え合う力を育てる指導法の工夫 -国語科「話す・聞く」の領域を通して-
11/19(金)	高ヶ坂小	表現し合い、学び合う学習の工夫 -「読む力」の定着をめざして-
2011年	学校	研究テーマ
1/28(金)	鶴川第二小	自分で学ぶ みんなで学ぶ -話し合い活動を通して、学び合い楽しむ授業の創造-
2/4(金)	町田第四小	たくましく しなやかな心を育てる道徳教育!
2/18(金)	藤の台小	思考力・表現力の向上を重視した読解指導

※詳細は各学校に直接、お問い合わせ下さい。

「まちだ市民環境塾」日程表 (森野分庁舎 4階会議室、18:30～)

日程	プログラム
9/24(金)	【基調講義】「ようこそ!まちだ市民環境塾へ〜地球環境と市民」(和光大学教授・堂前雅史)
10/1(金)	「食品リスクをどう考えるか」(東京大学特任准教授・神里達博)
10/8(金)	【公開講座】「自宅でできるエコライフ」(ワールドウォッチ研究所日本副代表・村田佳壽子)
10/15(金)	「アジアへ向かう日本のごみ〜循環型社会の現実と理想」(一橋大学大学院准教授・山下英俊)
10/22(金)	「地球環境問題をどう考えるか」(東京大学先端科学技術研究センター特任教授・米本昌平)
10/29(金)	「進化する環境教育を体験しよう!〜『プロジェクトWET』って何?」(河川環境管理財団子どもの水辺サポートセンター長・河崎和明)
11/5(金)	【公開講座】「町田市まちづくり計画について〜環境と景観の深い関係」(町田市まちづくり推進課長・沖哲郎)
11/12(金)	「COP10名古屋を終えて〜「生物多様性」の行方を考える」(環境省・生物多様性地球戦略企画室職員)
11/19(金)	「鶴見川流域発・流域思考の生物多様性地域戦略」(慶應義塾大学教授・岸由二)
11/26(金)	「絶滅危惧種の繁殖基地としての動物園〜『ZOOストック』とは」(帝京科学大学教授・石田おさむ)
12/3(金)	【ディスカッション】「私たちに何ができるか」(まちだ市民大学HATS環境講座プログラム委員)

本年度後期のまちだ市民大学では、9月より「まちだ市民環境塾」と銘打った連続講座(全11回、毎週金曜日、午後6時半〜)を実施します。今回「環境塾」の目玉の一つとしては、10月に名古屋で開催される「COP10生物多様性国際会議」に合わせた講義が挙げられます。複雑で多様な生態系をどう保全していくかというテーマは、環境省や国際会議に合わせた講義が挙げられます。複雑で多様な生態系をどう保全していくかというテーマは、環境省や国際会議に合わせた講義が挙げられます。

まちだ市民大学 HATSの環境塾!

まちだの環境問題から地球レベルの危機まで、市民のくらしの中で受け止めて、自分に何ができるか考えます!

環境のくらし市民大学

公開講座も充実!

今回の「環境塾」では公開講座を二回実施します。一回目は、生活の中でちょっとした気づきが、私たちの地球を救う第一歩であるとの趣旨から、その日にすぐに始められる「家エコ」の方法を学ぶ講義「自宅でできるエコライフ」(10月8日)を実施します。

以上の視点から、地球規模の生物多様性と町田市の生物多様性との関連に留意した学習を行います。それによって、町田市民が自分のくらしの中で環境問題を受け止めていくきっかけを与えていきたいと考えています。



▲村田佳壽子先生

第二回目の公開講座は、町田市のまちづくりの方向性を環境と景観の視点から学びます。景観をどうつくっていくのか、どう守っていくのかという問題は、実は環境保全とも深い関係にあります。そうした視点から講義では、「町田市まちづくり計画について」(11月5日)と題して、まちづくり推進課長が話を予定しています。

以上のようにまちだ市民大学では、より生活に即した講座を多くの市民の皆さまに向け発信していきたいと考えております。

お問い合わせ
まちだ市民大学HATS
729・1195